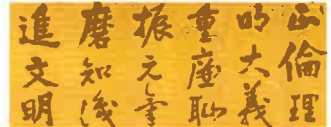




西関高

編集・発行/済々黌関西地区同窓会
事務局/大阪市淀川区西中島3-12-15 第5新大阪ビル502 (株)ラフ関西支社内
TEL 080-1414-8405 (岡本) FAX 06-6101-5572
メールアドレス seiseiko.kansai@yahoo.co.jp
http://www.seiseiko-kansai.com /題字揮毫 高見 廣流 (高見 広宣・S57年卒)



「本黌の建学の精神・歴史を学び、語り合おう」

済々黌関西地区同窓会 会長 北野伸也 (S32年卒)

ご周知の通り、森会長が昨年6月18日急逝され、その後任として幹事の方々のご推奨によりまして、会長に就任いたしました。

会の運営に当られる幹事の方々又会員の皆様のご支援を賜り、伝統ある済々黌同窓会の躍進、発展の為に誠心誠意努力する所存ですのでよろしくお願い致します。

森会長は平成9年に会長に就任され、私も幹事長として共に同窓会活動に当たりました。旧制中学の入学で5年間在学され、それだけに母黌に対する思い入れが強く、済々黌そのものといった風格で文武両道、特にフットボールには熱心でした。平成10年に済々黌永年の念願であった全国高校ラグビー選手権大会に出場、花園ラグビー場の客席のほとんどを黄色の小旗で埋め尽くし勝利し、祝賀会で会長を輪にした喜びが特に印象に残っています。在任中野球での甲子園出場が叶わなかったことは心残りだとは思いますが、同窓会親睦会、幹事新年会など会ある毎に皆で肩を組み、黌歌を3番まで声をハリアゲ歌ったのが、つい昨日のような気がします。13年の長きに亘り同窓会の発展に尽くされ又元気を与えていただきありがとうございました。

さて、来年は済々黌創立130周年を迎えます。この期を機会に本黌の建学の精神「徳、体、智」の当時の時代背景、明治中期

教育県熊本としてその名を全国に轟かせ、その中心となった済々黌の歴史を知ることは、私達が現代をいかに生きるべきかのヒント(指針)を与えてくれるものだと考えます。冒頭、同窓会の飛躍と発展の為に努力すると述べましたが、そのことは、まさに自分自身が済々黌の歴史を学び認識して、皆さんと共に考えることに通じると思います。具体的には、ホームページでの資料提供、紹介や、幹事会などの機会を捉えて反映できればと考えているところです。重要なことは「いかに早い年代から自ら関心を持ち自覚するか」に尽きると思います。(私の経験からすると、関心を持ったのは40歳代ですが自覚が足りず、もし若い内に認識していたらもっと意義ある人生になっていたかも知れないと残念です。)



同窓会の運営については昨年より委員会制となり、幹事長指導のもと総会実行・広報・組織の3委員会が各々立案・計画・常任理事会で決定し、実行と軌道に乗りつつあります。関係各位の前向きな努力に感謝すると共に、会員の皆様の協力、ご支援をよろしくお願い致します。

平成23年度総会のご案内

今年度の総会は次の通りです。昨年を上回る参加を期待しています。(総会実行委員会)

☆日時 5月14日(土) 12:30~15:00
☆場所 太閤園 (平成21年度に続き2度目の開催)

昨年は会員102名、学生38名、来賓12名の合計152名の参加でした。同窓生の皆様には大いに飲み、語ってそしてアトラクションに興じて、土曜の午後のひと時を楽しんでいただきたいと思っております。どうぞ奮ってご参加ください。

毎年恒例のアトラクションについては、昨年に引き続き「チーム対抗歌合戦」第2弾を企画中です。「審査委員の評価で賞品を進呈」は昨年同様ですが、今回は選考方法等を変更して全員参加の楽しいアトラクションにしたいと考えております。また、賞品の寄付も例年通り宜しくお願いします。会社のPR物などなんでも結構です!!



故 森 武 光 会 長 追 悼 特 集

森武光さんは平成22年6月18日、心不全のため急逝されました。
お別れ会は20日無宗教形式にて相営まれました。
同期のお二人から追悼文をお寄せいただきました。



生前の森武光氏・左端



「森武光君を偲んで」

岩 永 研 一 (済々黌同窓会会長・S26年卒)

関西地区済々黌同窓会の会長を長年に亘りつとめていた森武光君の突然の訃報を出張中の携帯電話で受け信じられない思いでした。あれだけ精力的に活躍していた彼が、手術する事は聞いていましたが、まさかと耳を疑ったことでした。

彼はしんからの母鬻思いの強い人で、殆どの同窓会の行事には参加してくれていました。勿論我々二六会の会合にも欠かさず馳せ参じてくれました。

一方関西熊本県人会の会長としての激務をよく果たされ、関西県人会の各地区の集まりにも努めて参加し、経済交流会でも

重きをなしていました。

細かい心遣いで、我々仲間は勿論の事、後輩たちの面倒をよく見、皆から慕われていました。酒が強く、興に乗れば独特のやややすれた声でカラオケを唄い、上手でした。母鬻野球部の甲子園出場を一番待ち望んでいたのに果たせず去って行きました。彼は大変な筆マメで、会った後はすぐに便りをくれていました。

そんな森武光君にもう会えないと思えば、本当に淋しい。これ迄の友情に感謝の誠を捧げ安らかな旅立ちをお祈り致します。



「森武光よ。天空より盛大に声援して呉れたまえ！」

光 島 磯 雄 (済々黌関西地区同窓会副会長・S26年卒)

畏友・賢友そして尚且つ悪友だった「森武光」の他界を惜しんで一筆・

森が別れの挨拶もなしに早世してからはや9ヶ月が過ぎた。彼と私は今を去る65年前熊本市黒髪町の黄壁城の里で学窓を共にしたのが始まりで、思い起こせばアジアの東西南北にわたって国力と不似合いな戦乱に突入し、米軍による2回の空襲(7月、8月)災害に曝されたあげく焼け跡・廃虚上に「戦後」が始まったのである。森は中学一年時は広島一中に入学していたが、二年次に疎開をかねて父祖の郷里の済々黌に転入したが、そのときはすでに日本全国どこも安全なところはなかった。黒髪の校舎も被災焼失し、昭和20年秋には軍学校に進んだ先輩も続々と復学し、応急に作られた廃材や古材によるバラック校舎はまともな学習環境とは言えず、夜間は電力事情も劣悪で勉学意欲の高い者は警察施設や駅の一室を賃して貰って努力する生徒も多かったのだ。この時期に在籍した我々としては格別の思いがこもっているのだ。

森は頭脳明晰だったので九大に進んだが、後日談によれば進学後はもっぱら米軍施設でのバイト(当時この言葉はなかった)に明け暮れたとのこと。不肖光島は、軍隊から復員し(兵役から民間に帰郷すること)済々黌の体育教師になっていた人(藤田八郎さん)に勧誘され、「送球部」(現在はハンドボール部という)なる運動部に入部したのが60年後の現在に至るまでのきっかけとなり、結果的には大阪府の教員の道を選んだ。森は昭和

31年頃に大阪にある中堅広告会社の幹部として入社し、期せずして二人はその後の60年近くを「26年卒グループ」と「関西同窓会」(当時は最末席)を核にしては喜寿以上を過ごしたことになる。当時のブレイブスには期友の岡本健一郎氏や古山嘉視氏が在籍し、ときには切符を頂戴し西宮球場に観戦に行ったこともあった。そのころは阪神高速道路などは着工されていなかったのだ。当時も母鬻の野球部は九州で鳴らしており、「選抜」で優勝したときの感銘はいまもなお鮮烈である。その後、万博あり阪神大震災ありで世間は大変わりしたが、森は関西地区同窓会や県人会などの元締めとして常に前向き姿勢で決してボヤキを言わず、年中行事として夏の高校野球・花園への母鬻ラグビーチーム応援・全国駅伝大会などの応援などなどに奮励努力を傾け参加したのだ。この陣頭指揮振りの完全模倣は無理でも、この基本精神は粉骨砕身の献身努力による愛郷心・愛校心の発露として人後に落ちぬ意識で維持継承しようではないか。不肖光島は個人的に森とプロ野球観戦とか芝居演劇見物・陸海空の自衛隊・江田島や横須賀訪問・カラオケ・昔の歌謡曲・軍歌などで有意義な見聞を得たと思っているし、今後とも残りの人生にプラスにしたいと思っている。

森武光よ。天空より盛大に声援して呉れたまえ！
一に済々黌、二に済々黌、三・四はなくて五に済々黌の気持ちで頑張ろう！



＜平成22年度総会の報告＞

平成22年度、関西地区同窓会総会が、5月8日（土）ホテルニューオオタニ大阪で行われました。前回は上回る、総勢152名が参加してくれました。光島副会長（S26年卒）による三綱領の唱和。森会長（S26年卒）の挨拶では、学生の参加が38名と増えたことへの感謝。2年後の創立130周年に向けて更に組織を拡大していこうとの力強いメッセージが述べられました。熊本からお越しいただきました眞開賢長先生と、岩永同窓会会長（S26年卒）からは、本館立替の状況や130周年に向けての取り組みなど現況が報告されました。最後に事務局からの業務・会計・役員改選の報告がなされ総会は無事終了しました。

懇親会では12名の来賓を迎え、乾杯の音頭は参加最高齢者の入江先輩（S20年卒・83歳）のユーモアに満ちた話で、会場が一段と和やかなものになりました。また、「関西で頑張る済々多士」として、奈良でボランティアガイドをしている駒崎さん（S41年卒）と大阪大学在学中でNPO法人の奨学金制度を立ち上げた、渡さん（H20年卒）がステージで紹介され、拍手で激励されました。そして、懇親会の最大イベントは今回初挑戦となる「チーム対抗カラオケ歌合戦」です。総会実行委員会の矢野さん（S49年卒）の企画運営で、司会は若手から大抜擢された高千穂さん（S61年卒）と本郷さん（H18年

卒）が務め、チームの歌い手を盛り上げてくれました。優勝は前回に引き続き来賓チームと驚きでしたが、多分に県人会の結束の賜物が背景にあったようです。優勝、準優勝、特別賞の各チームには同窓生の方々からの心づくしの賞品が贈られ、大喜び・大満足の呈でした。東京から参加の応援団OB牧野さん（S40年卒）がエールで先導し、肩を組み合っの賛歌の大合唱で会場内は最高潮に達しました。最後は河島顧問（S28年卒）に締め挨拶、万歳三唱で無事閉幕となりました。

（総会実行委員会報告）



平成22年度 就活激励会が開催される！

関西地区同窓会（組織委員会）では、1月の「就活激励会」に続き、この10月にも関西の大学に在学中の学生（3回生中心）向けの「就活激励会」を開催しました。

- 日時 平成22年10月9日（土） 17:00～19:00
- 場所 大阪弥生会館 「比叡の間」
- 内容 業種別のテーブルを配置して、個別に先輩の体験談・アドバイスなどを聞くことで就職活動の参考にしよう。

当日は、学生諸君にとって、まだ同窓会活動への関わりが薄いこともあって、参加者が6名と少ない状況でしたが、出席した学生諸君からは「身近に先輩方の話が聞けて参考になった」「今後、個別に訪問していきたい」との感想も寄せられ、意義ある行事となりました。主催の組織委員会（駒崎委員長）では、今後とも学生の幹事役との連携を深め、学生諸君が気軽に参加して先輩方との交流が図られる機会をつくってきたいと計画しています。



〈今回参加の学生諸君〉

- 本田 未菜美 さん（立命館大4）
- 武石 緑 さん（立命館大3）
- 鍛冶屋 圭介 君（大阪大3）
- 小材 隆貴 君（大阪大3）
- 田口 健太 君（同志社大3）
- 中尾 剣士 君（大阪大2）

一人親家庭支援NPO「あっとすくーる」のご紹介

こんにちは。平成20年卒の渡剛と申します。今回は今自分が行っている活動についてみなさんにご報告させていただきます。

昨年、11月23日放送の「ガイアの夜明け」にも取り上げられたのですが、僕は一人親家庭の子どもを支援するために自分で塾を立ち上げ、現在それを運営しています。

そもそも何でこんな活動を始めたかと言うと、僕自身が母子家庭で育ち、多くの苦労を経験してきたからです。今の日本の一人親家庭の子どもは経済的にも精神的にも苦しい状態にあります。そんな社会をどうにかして良くしたい！と思い現在活動しています。

しかしまだまだ立ち上がったばかりの段階で物資両面共に不足しており、特に資金面で苦労しています。もしよろしければ会員登録をさせていただいて賛助会員としてどうぞご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。詳細はホームページをご覧ください。

渡 剛（H20年卒）

住所・連絡先

〒562-0003 大阪府箕面市西小路2-7-16 朝日ビル 303号

TEL：072-702-0020（平日18時～22時）

E-mail：atto.school@gmail.com

元気いっぱい！女子会発足！！

2010年11月19日（金）、第2回目となる『関西済々夔女子会』を開催しました。

平成22年～平成18年卒業のかわいい先輩たち13名が、京都・大阪・神戸から集まってくれました。会場は、前回と同じホテルニューオータニ大阪の最上階、スカイラウンジ「フォーシーズンズ」。それぞれ、新入生、就職内定者、社会人とバラエティにとんだ立場で、話題も学生生活や、就職のこと、おしゃれのことなど、さまざま。その中でも全員で盛り上がった話題が、済々夔女子の「盛夏服」。私以外は学生時代に「盛夏服」を着たことがないそうです。「いったい、いつ、どうして盛夏服がなくなったのか？それが知りたい！」と話題を集めました。情報をお持ちの方は、是非教えてください。

大いに盛り上がった女子会の締めくくりは、ライトアップされた大阪城をバックにしての記念撮影。今後3回、4回と続けていく方針です。 勝浦美奈子（S57年卒）

※関西地区同窓会のHP「年次別活動報告」の中に「女子会」の情報を掲載していますので、参加希望の方はご連絡お待ちしております。

<2010年11月19日 関西済々夔女子会>



松本佳菜/荒木志保/佐伯麻衣/藤中友美/古閑絵美子
(H18) (H18) (H22) (H22) (H22)
土井小春/池田枝雨/田浦暁子/武石 緑/勝浦美奈子
(H18) (H18) (H18) (H19) (S57)
本田未菜美/本郷勢子/橋本佳奈/馬場睦美
(H18) (H18) (H22) (H22)

ゴルフ愛好会「多々夔会」のご紹介。会員募集中です！！



多々夔会は、関西地区同窓会の「活性化」並びに「会員相互の公私にわたる交流を図る」ことを目的として平成15年に発足したゴルフ愛好会です。多々夔会として3回、加えて済々夔と熊高の対抗戦「黄白会」を1回開催しています。開催月は原則として4月、7月、9月（黄白会）及び11月としています。平成15年7月15日に第1回コンペを開催し、平成22年11月6日で25回開催となりました。また、第20回開催を記念して多々夔会のキャップを作成しました。（写真）スコアより楽しくプレーをして、語らうことを目的としていますのでどうぞお気軽にご参加下さい。

ご参加を希望の方は、事務局の岡本までご連絡下さい。詳細はホームページをご覧ください。 多々夔会 副幹事 岡本 金之（S47年卒）

【同窓生が経営するお店紹介シリーズ】

一働く先輩こんにちは！

第2回 もっこすフーズ

内田 哲郎さん（S40年卒）

神戸地区に12点を出店するラーメンチェーン店。この方面に在住の人や出かけた人は「もっこす」という名前が懐かしくて必ず訪れるようです。社長の内田哲郎さん（写真）は、熊大を卒業後、各地を放浪したあと、神戸でラーメン屋に住み込みゼロからのスタートで現在の規模まで業容を拡大されました。中華そばはボリューム満点でちょっと濃い目の味ですが、チャーシューが多く一度食べると癖になります。結果、常連さんもすごく多く繁盛しています。お昼は行列覚悟です。同期会（40会）でも、必ず食材を提供してくれて、頼りになる親父です。

総本店：住所 神戸市中央区楠町7-1-3

電話 078-361-3405 立ち寄ってみらんね！

紹介者 本田 重寿（S40年卒）



【職場の中の多士済々】<大和ハウスグループ>

大和ハウス工業を中心としたグループ全体で、8名の済々健児が活躍しています。入社は全員大和ハウス工業ですが、転勤や異動で人生色々状態になっております。現在大阪に勤務しているのは写真の4名です。済々夔OBとしての集まりは定期的にはやっていませんが、何かあれば、色んな形で集り、親睦は常に深まった状態を維持しています。この日も写真撮影後飲み会に直行となり、和気藹々とした雰囲気での楽しい酒の会となりました。

写真 左前から上田貴司43年卒、中村洋一郎47年卒、

左後から上野博史52年卒、大迫世城62年卒

